

業務部速報

No. 63

発行 16. 1. 27

JR東労組 業務部

申11号 北陸新幹線金沢延伸開業後の検証に基づく申し入れ



- 第1項 北陸新幹線における停車駅が異なる列車タイプ別の利用率を明らかにし、混雑緩和を図ること。また、各列車を利用されるお客さまからの要望を明らかにすること。
- 第2項 北陸新幹線「あさま号」を増発し、利用者の利便性向上と一部列車の混雑率を緩和すること。

高崎 - 軽井沢駅間の乗車率

「かがやき」は、約6割の乗車率

「はくたか」は、約5割の乗車率

利用状況は順調。混雑率については曜日、季節や、マルス販売の状況を見ている

課題

◆「あさま」が混んでいるので混雑率の平準化を図る
そのために、①停車駅、列車の停車回数の見直し
②列車が集中しないようにする
③時間帯による停車駅の見直し

混雑を緩和するために「自由席号車の拡大」、「あさま号」の増発、「はくたか」の停車パターンを検討するべき

- ・列車設定見直しをJR西日本にも要請しているが、利害関係で変更には至っていない。
- ・東京 - 大宮駅間の列車密度が高く、列車を仕立てることが出来ない。
- ・次期ダイヤ改正にて「利用状況」「列車間隔」「列車の使命」を鑑みて、「総合的に勘案したスタイルで検討している。

大宮始発列車を設定し増発することも検討すべき!!

乗務員の検証結果を反映し、次期ダイヤ改正に取り組んでいくことを確認!

- 第3項 並行在来線のダイヤ設定を見直し、遅延が発生しても新幹線との接続を確保し、利便性を向上させること
【乗り換え時間(平均)】

現在 『上越妙高駅の乗換』・・・特急しらゆき号から新幹線乗換まで(遅れて乗り継げない場合ある)



1番遠い階段から1番遠い車両への移動時間を歩測

乗り換え標準時分が8分 改正にて (新幹線で金沢方面から、特急しらゆき乗継ぎの場合は9分)

(特急しらゆきで新潟方面から新幹線乗継ぎの場合は、13分)

「利用者の利便性を確保した時間を確保」しかし、遅延時に乗換できない。

少子高齢化や列車遅延にも乗り継ぎが出来る時間を確保するダイヤ設定を要請!

- 第4項 乗車率が高い列車は、乗り組み体制を2人体制とすること。

○混雑率が高い列車については、車掌業務にある「秩序維持を目的とした巡回」ができない。サービス品質の低下!!
○巡回できない状況があってはならない。防犯対策や車内秩序維持のためには2人乗務が必要である。

会社の回答

対立!

- ◆車掌の乗務体制は、サービス品質、効率的な体制を見て判断。また、要員も潤沢ではない。
- ◆巡回は1車両平均30秒。12両で6分(1番短い駅間7分45秒安中 - 高崎間)充分巡回可能
- ◆混雑率は会社も調査を実施。月曜、金曜に乗車率130%の列車を調査したが車掌が巡回できない列車はない。
- ◆2人乗務にしない理由は、1人でも2人同等の対応ができるという判断。(基本の足取りで車内巡回できる)
- ◆ドア扱い箇所の変更と設備整備によって、車内巡回は出来ている。ドア扱い位置の変更をしても、車内巡回できてるわけではない!!

車内の巡回によって、車内秩序維持が出来る体制を今後も求めていく!

- 第5項 E7系(F編成)の荷物収納スペースを確保すること。

E7系偶数号車に荷物収納スペースは設置済み(平成27年12月15日に実施済み。政策フォーラムの要求実現)

しかし、海外旅行者の荷物対応に課題が残る。全部の車両に収納スペース設置を要請!

検証運動を強化し、2016年ダイヤ改正に臨もう!